

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 営農部門との連携による融資伸長の取組

J A 名 J A 松山市 (愛媛県)

1 動機 (経緯)	近年、農業従事者の高齢化、また新規就農者の減少による農業後継者不足が深刻な課題となっており、このことが農業生産力の低下にも繋がっております。これらの問題に対処し、農業の活性化に繋げるべく、金融担当者と営農担当者との連携を強化し、農業法人や個人農業者を中心とした地域農業者との関係を深めることに努めました。
2 概要	当組合では、245先の担い手農家を選定し、継続的な訪問・面談活動を展開しております。その中で、資金のニーズや相談をいち早く入手するために、金融担当者と営農担当者が連携し、情報の共有化に努めております。 また、定期的に行われる営農指導員会に金融担当部署も参加し、農業資金の研修を行うなど、営農担当者の金融サービス向上にも努めています。
3 成果 (効果)	このような取組みを行った結果、23年度は農業施設資金や制度資金、短期運転資金など46件、金額においては1億1,192万円の新規実行を行うことが出来ました。
4 今後の 予定(課題)	今後、更なる担い手農家との関係を深めるために、引き続き営農部門、金融部門との連携を強化し、資金ニーズにいち早く対応できるよう努めていきたいと思っております。